

ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031
FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2017年
12月21日

さいごまであきらめない 核兵器廃絶を訴え、カレンダー普及

先日 18 日の赤旗日刊紙「読者の広場」にあった北海道の高松修二さんのことばに励まされます。2013 年原水爆禁止世界大会に参加をきっかけにちひろカレンダーの普及に尽力されている高松さんは、今年さらに普及をひろげています。「核兵器廃絶を訴えたらみなさん買ってくれますよ」と。来年の世界大会の参加も楽しみに、運動の一躍を担ってくださっています。毎年厳しい状況ではありますが、そんな中でも「まだ普及できるよ！」という方はいらっしゃると思います。子どもを生んだばかりの方にちひろカレンダーの話をする「いままでは買わなかったけど」と購入してくれるなど、今後につながる大切な 1 本。さいごまであきらめず広げていきましょう。

【山形】主任手当を拠出で、カレンダー贈呈 100 本

原発事故から山形で避難生活している子どもたちのいる家庭へ、山形からカレンダーを贈ろうと事務局長の情野さん（元米沢教組委員長）が教職員組合に相談。「子どもたちのために使おう」と貯めた主任手当（個々人は受け取らず有効利用をすることを労組で決定した手当）を拠出することを決めました。

【福岡・朝倉市】届けてきましたー！

福岡県労連を中心に九州北部豪雨の被災地支援を続けているので、「カレンダーを仮設住宅に届けるにはどうしたらいいか」と。相談をする中、募金にも協力しようと回答をいただきました。12月20日に朝倉市3カ所と東峰村1箇所の仮設住宅団地、東峰村に唯一の学校東峰学園（小中一貫校）を訪問しました。（朝倉市の小中学校は教育委員会から届けていただけます）。詳しくは後日ニュースで。（福岡県原水協事務局長 高橋恵子）

これからの被災地贈呈先です 1480 本



- ・岩手県久慈、宮古、陸前高田の保育所、山田町作業所など 810 本
- ・宮城県仙台市 100 本
- ・熊本県益城町仮設住宅など 400 本
- ・福島県飯館村民（小学校・仮設住宅） 350 本
- ・福島県浪江町民（仮設住宅ほか） 200 本
- ・茨城県常総市の保育所など 100 本

新しい年を笑顔で迎えられるように 引き続き募金にご協力をお願いします。